

何を大事にするのか

施設長 松島栄一

少し前(昨年の秋の頃)のテレビで茨城県の笠間という市に、笠間稲荷という有名な神社がありますが、その門前に老舗の旅館があり、明治時代に建てられた木造3階の立派な建物があるとのこと。その旅館の経営が困難になりその建物を市が買い取り、そこで起業してくれるところを公募しているという報道がありました。市が観光のためにそういうこともするんだということもありましたが、その明治に建てられた3階建ての木造建築がこの前の震災にはびくともせず、昭和になって増築された新館が使えない状況になっているという映像がとても印象的でした。経営を断念する一因ともなっているようです。建築技術としてはきっと明治時代に比べ進歩しているはずなのに新しい建物が壊れるというのは、どういうことなのかと少し思います。それは、お金のかけ方が違うんだということもあるでしょう。でもきっと何を大事にしてどこに力を注いだかということなのだと思います。笹子トンネルの事故にしても何を大事にした工事だったのでしょいかと問われているのだと思います。我が法人の理事さんで建築設計士の方がおられます。その方とお話をすると建物一つ一つ何を大事にして、形、材料等を考え設計していくのだというお話でした。今の建築技術の進歩は、接着剤やら集成材と称するまがい物を本物らしく見せる技術が横行し、建物は見てくれはきれいだが、人間を大事にしているのかと思うくらい疑問を抱くことが多いとのことでした。

私たちの福祉の仕事も、利用者主体だとかサービス提供だ、利用計画作成だ、相談支援だ、苦情受付・解決だ虐待防止だ等々飛び交っていますが、何か肝心な所、何を大切にしているのかというところがぼやけてしまっているように思えてなりません。大抵の地震にはびくともしない、何十年も建っていられる仕事がしたいですね。

～「けやき」ミニ・ギャラリー①～

<スイーツづくり～バレンタイン・デー～>



2月14日はバレンタイン・デー。ケーキ作りを楽しみました。スイーツとなると、いつも以上に集中します！楽しい時間になりました。



「けやきの今」

2007年に始まった生活介護事業「けやき」は7年目。定員10名の小さな事業です。小回りが利く分、約7年間のうちにいろんな事情が積み重なって、それを工夫して乗り越えていくうちに、職員自身も「なんでこうなっているの？」と思ったりするほど、複雑なカラクリになっていることも出てきました（苦笑）。もちろん、元をただせば、そこにちゃんと理由や経過があるのですが…。そこで、「けやきの今」を、紙面上で時々掲載して、「けやき」の状況をお伝えしながら整理していこうと思います。できるだけシンプルに整理して「けやきの今」が伝われば…と考えています。よろしかったらお付き合い下さい。

「けやき」の防災対策②～火災想定を中心に～

けやきでの避難訓練のポイントに、もうひとつ大事なものがあります。それは「利用者さんを混乱させないで安全に非難させる」というものです。これは、職員が、日頃の利用者さんとの関わりの積み重ねの在り様・力量が問われる機会でもあります。訓練で職員が自身の非力さを感じることも少なくありません。しかし、こういう機会が、改めて職員自身や職員集団が、利用者さんとの関わりの在り様を考え、学ぶ機会にもなっています。

さて、地震想定での避難訓練の一方で、「火災想定」の避難訓練は、実はようやく昨年暮れに行ったところです。火災想定の際のポイントは「初期消火」「火災通報」「応援を呼ぶ」「避難」といったところです。「初期消火」は天井に火が燃え移るまでは効果あるそうです。しかし、火災の際の犠牲者の大半は「火」が原因ではなく「煙」が原因とのこと。車椅子の方や体の動きがスローな方の多い「けやき・光」などは、「初期消火では食い止められなかった」というところで避難開始を始めているのは厳しいのではないかと

しかし、だからといって、どの段階で初期消火をあきらめるのか、その線引きは？

また、出火原因をつくってしまった職員は、果たして初期消火をあきらめられるのか？

そもそも利用者さんを出火し煙がすでに出ている状況のなかで職員がどれだけ短時間に避難誘導させられるのか？

…会議では今まで何度も職員全員が真剣に議論してきました。考えれば考えるほど判断が難しいこともあり、皆が揃ってその恐ろしさを感じる一方で、訓練手順・ポイントがなかなか整理出来ずにいました。そうは言っても「やってみて初めて見えてくるものもあるのでは？」ということで、まずは一般的な避難訓練通りにやってみよう、と先日行ったのでした。

利用者さんによっては靴を履きかえてから避難をするという手順を踏んだ方がスムーズだから、とパニックや無用な危険を招かないようにも配慮したので、「本当に火災が起きたときには恐らくありえない」訓練だったかもしれません。とりあえず「手順を踏んでやってみた」、そんなところです。

そんな訓練をする意義はあるのか？とお叱りの声もあるかと思いますが、しかし、少なくとも各職員が「しっかりと火災の怖さを想像してみる」機会を繰り返しもつこと、そして実際とは少しかけ離れながらも訓練をしながらポイントや役割を確認することはとても意

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

義があると感じています。そして何より、火災の怖さを繰り返し想像することで、火の元を注意する意識を強く持つ。これはとても大事であると思っています。

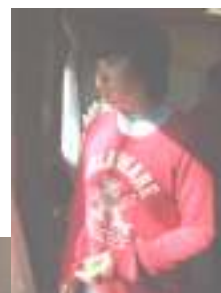
もっとも、この先、どのように「火災想定」の避難訓練を重ねていくべきなのか。正直なところ、ちゃんと見えてはいません。次回の職員会議では早速、先日行った避難訓練を「振り返り」、その振り返りで生まれた次への指針を実践して、また振り返り…という繰り返しをしていく中で、徐々に職員集団が力をつけ、「けやき」にあった避難訓練の在り様を見出せていければ、と思っています。

まだまだ乾燥した時期が続きます。くれぐれも火の元には注意していききたいと思います。

(西)

～「けやき」ミニ・ギャラリー②～

<節分・豆まき>



「風」の皆が準備をして「光」へ…



鬼だぞー!!



「…。」



その後は「風」の仲間も職員の鬼に豆をぶついたり、一緒に鬼になって記念撮影をして賑やかな時間となりました!

2月・3月の予定

2月14日(木)～；けやき改修工事開始(3月一杯まで)

2月16日(土)～17日(日)；

イオン稲毛店「まあい広場」と「千葉市立
こてはし台中学校特別支援学級」合同販売会
※けやき製品の委託販売を行います。

2月18日(月)～；健康チェック週間

2月20日(水)；外出日

2月21日(木)～24日(日)；生き生き展(茂原アスモ店)

※けやき製品の委託販売を行います。

3月18日(月)～；健康チェック週間

3月20日(水)；春分の日・休業日

3月26日(火)；外出日

3月27日(水)；「2012年度けやき」解散式
今年度活動最終日

3月28日(木)～4月2日(火)；春季休業期間

< 教育講演会のお知らせ >

入場無料

困難を乗り越え強く生きる

～人と人 助け合う心、人間としても最も大切なこと～

講師；濱宮 ^{はまみや} ^{さとし} 郷詞(オフィス濱宮郷詞 代表)

★2013年3月2日(土)

開場 午後1:00 **開演** 午後1:30 **閉演** 午後3:30

★場所；ゆうあい館(睦沢中央公民館)

保育あり ※保育ご希望の方は2月23日(土)までにお申し込みください。

お問い合わせ；0475(44)1214 つくも幼児教室まで

共催；社会福祉法人九十九会(榎の木学園 つくも幼児教室 ときわぎ工舎 一松工房)

睦沢町教育委員会

編集後記 ▼実は「けやき」の拠点の改修工事が去る2月15日より始まりました。現在の、拠点が2か所ありながら、どちらも手狭でトイレをはじめ設備も不十分な状態が続いていましたので、とにかく現状を少しでも改善するための工事です。工事完了後は基本として定員は現状維持。拠点は1か所として活動していくこととなります。▼工事開始が大幅に遅れ、新年度に間に合うのか？というギリギリのところですが、利用者さんや保護者の方にはいろいろとご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いします。▼生活保護費1割削減や少年法厳罰化の方向性が打ち出されていますが、どちらの政策も、巻頭の松島施設長の言う「何を大事にするのか」というところが見えていないように感じています。「弱い者が更に弱い者を叩く」構図はあまりに悲しく怒りがこみ上げてきます。政策である以上、現実的でなくてはなりません、それ以前の問題。せめて、もう少し問題の「根っこ」や「カラクリ」を理解した上での政策作成ができないものでしょうか？(西)